

中国における商業賄賂と不正リスク対応の実務

近年の中国における商業賄賂と不正の実例を紹介し、防止・抑制・発見・調査の手法を具体的に解説

●日 時● 2015年 12月 25日 (金) 13:30~17:00

●会 場● 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』 TEL:03-5215-3511

講 師

デロイト・トウシュ・トーマツ 上海事務所

米国公認会計士、公認情報システム監査人、公認内部監査人

原 国太郎 氏

【略歴】京都大学経済学部卒。大手ビジネスコンサルティング会社にてサプライチェーン構築・ERP導入プロジェクト等に参画後、監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)に入所。大手商社の業務再構築プロジェクトにおける内部統制コンサルティング、米国SOX法や日本版SOXの対応支援・内部統制監査に携わった後、2007年3月よりデロイト・トウシュ・トーマツ上海事務所勤務。多数の日本企業中国現地法人における内部管理改善や不正リスク対応等のアドバイザー、内部監査や内部統制監査の豊富な経験を有する。

【主な著書】「内部統制で現場の仕事はこう変わる」(ダイヤモンド社)、「中美日企業内部統制実務」(復旦大学出版社)、「事例で分かる中国子会社の部門別リスク管理」(中央経済社)他。

◆ 開催にあたって

中国の経済成長が鈍化し、新常态(ニューノーマル)と呼ばれる安定成長が目指される中で、反腐败運動を背景とした商業賄賂の大規模な取締りなど、ビジネス環境も大きく変化しています。

巨大市場における企業の生き残り競争も激しさを増しており、コスト削減がより重要となってきた中で、不正による「見えないコスト」に、取り組むべき時期が来ていると言えます。

本講座では、現地で活躍中の講師が、近年の中国における商業賄賂と不正の実例を紹介し、防止・抑制・発見・調査の手法を具体的に解説します。

≪詳細は裏面をご覧ください≫

●受講料●1名(税込み、資料代含む)

正会員	32,400円 本体価格 30,000円
一般	35,640円 本体価格 33,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日、受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

一般社団法人 企業研究会

担当: 薄井 E-mail usui@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3516 FAX 03-5215-0951

企業研究会 セミナー事務局宛

FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (http://www.bri.or.jp) からもお申込みいただけます。

151313-0309(※)		2015.12.25	
申込書 中国における商業賄賂と不正リスク対応の実務			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所 属 職	
Eメール			
ご氏名	フリガナ	所 属 職	
Eメール			

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

中国における商業賄賂と不正リスク対応の実務

● プログラム ●

■ 講師： デロイト・トウシュ・トーマツ 上海事務所
米国公認会計士、公認情報システム監査人、公認内部監査人

原 国太郎 氏

13:30

第一章 贈賄のリスクと対応

I. 商業賄賂の定義と取締りの実務

- (1) 商業賄賂に係る法令
- (2) 工商局の調査権限
- (3) 上海市工商局の実務
- (4) 米国FCPA
- (5) 英国贈収賄法

II. 贈賄の事例

- (1) 3.8元の商業賄賂事件
- (2) グラクソスミスクライン事件
- (3) キンバリー・クラーク事件
- (4) シーメンス事件
- (5) モルガン・スタンレー中国法人元幹部FCPA違反事件

III. 贈賄リスク対応の実務

- (1) 贈賄リスク対応の方法論
- (2) ポリシー&マニュアル策定
- (3) トレーニングの実施
- (4) モニタリングの実施

第二章 収賄等不正のリスクと対応

IV. 収賄等不正の事例

- (1) 中国現地法人不正実態調査の概要
- (2) 不正事例：架空顧客への販売
- (3) 不正事例：架空のITサービス
- (4) 不正事例：現地幹部と元従業員の癒着
- (5) 不正事例：廃棄物処理に係る不正
- (6) 不正事例：契約書の偽造
- (7) 不正事例：出納担当者による現金着服
- (8) 不正事例：財務管理者による現金着服

V. 収賄等不正リスク対応の実務

- (1) 不正リスク対応の方法論
- (2) 不正の防止・抑制
- (3) 不正の発見・調査
- (4) 不正の機会を与えないための取り組み
- (5) 不正の正当化の低減
- (6) 内部通報制度
- (7) 内部監査
- (8) 分析的手続
- (9) データ分析技法
- (10) デジタルフォレンジック
- (11) ビジネスインテリジェンス
- (12) 現場調査
- (13) インタビュー

17:00

※ 講義内容は最新情報を盛り込むため、一部変更をさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

※ 質疑応答時間もあります。個別のご質問・ご相談にも対応いたします。